

ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ (1984)

ONCE UPON A TIME IN AMERICA

メディア 映画

ジャンル ドラマ 犯罪

製作国 アメリカ

時間 205分

初公開日 1984/10/06

公開情報 東宝東和

【解説】

マカロニ・ウェスタンの巨匠、レオーネ監督が10年以上の構想の末にアメリカ資本で製作した、ユダヤ系ギャングの半世紀に及ぶ友情・愛・裏切りをノスタルジックに描く一大叙事詩的大作。20年代初頭のニューヨークに住む少年ヌードルス（スコット・タイラー）は仲間を率いて貧困街で悪事の数々を働いていた。ある日その町に越して来たマックス（ラスティ・ジェイコブス）と運命的な出会いをした二人は禁酒法の隙間をぬって荒稼ぎを続け、大人になった頃にはギャング集団として申し上がっていた。しかし新たな仕事の計画を立てたマックス（ウッズ）の無謀な考えに反発したヌードルス（デ・ニーロ）は彼を裏切り、警察にその情報を流したためマックスたちは殺され、ヌードルスは町を追われるのだった。しかし35年後になった今、年老いたヌードルスの元に不審な手紙が舞い込んで……。故郷に戻ったヌードルスが意外な真実を解いて行く中で展開する回想シーンと、ザンフィルのパンフルートをういた哀愁を帯びたモリコーネの音楽。レオーネ特有のゆっくりとした描写で苦悩するデ・ニーロの心情が痛いほどの伝わりを見せる、監督の演出力の妙が全編に渡って見受けられる感動作になっている。個々の時代を再現させた緻密で豪華なセットやエキストラの数も圧巻！ デ・ニーロの笑顔で終わるラストも切ない。尚、本作は意外にも、たった7本しか監督作のないレオーネの遺作である。

【クレジット】

| | | | |
|-------|---------------|--------------------|----------|
| 監督 | セルジオ・レオーネ | Sergio Leone | |
| 製作 | アーノン・ミルチャン | Arnon Milchan | |
| 製作総指揮 | クラウディオ・マンシーニ | Claudio Mancini | |
| 原作 | ハリー・グレイ | Harry Grey | |
| 脚本 | レオナルド・ベンヴェヌーチ | Leonardo Benvenuti | |
| | ピエロ・デ・ベルナルディ | Piero De Bernardi | |
| | エンリコ・メディオーリ | Enrico Medioli | |
| | フランコ・アルカッリ | Franco Arcalli | |
| | セルジオ・レオーネ | Sergio Leone | |
| | フランコ・フェリーニ | Franco Ferrini | |
| 撮影 | トニーノ・デリ・コリ | Tonino Delli Colli | |
| 音楽 | エンニオ・モリコーネ | Ennio Morricone | |
| 出演 | ロバート・デ・ニーロ | Robert De Niro | ヌードルス |
| | ジェームズ・ウッズ | James Woods | マックス |
| | エリザベス・マクガヴァン | Elizabeth McGovern | デボラ |
| | ジェニファー・コネリー | Jennifer Connelly | 少女時代のデボラ |
| | ダーラン・フリューゲル | Darlanne Fluegel | イヴ |
| | トリート・ウィリアムズ | Treat Williams | ジミー |
| | チューズデイ・ウェルド | Tuesday Weld | キャロル |

| | | |
|--------------|------------------|---------|
| バート・ヤング | Burt Young | ジョー |
| ジョー・ペシ | Joe Pesci | フランキー |
| ジェームズ・ヘイデン | James Hayden | パッツィ |
| ウィリアム・フォーサイス | William Forsythe | コックアイ |
| ダニー・アイエロ | Danny Aiello | アイエロ |
| ジェラード・マーフィ | Gerard Murphy | クローニング |
| ラリー・ラップ | Larry Rapp | ファット・モー |
| ダッチ・ミラー | Dutch Miller | |
| ロバート・ハーパー | Robert Harper | |
| リチャード・ブライト | Richard Bright | |
| ポール・ハーマン | Paul Herman | |